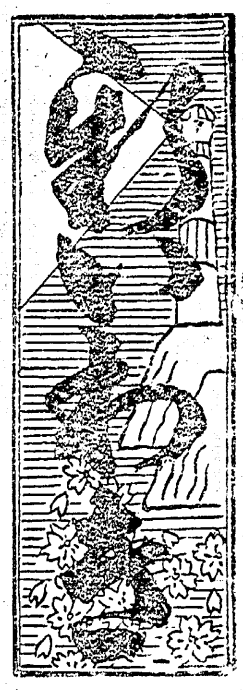
（昭和五年三月廿一日 第三種郵便物認可）　昭和十二年一月九日【日刊】　新いわき　主幹日　第一千九百五十號　（11）

一月八日　夕刊



日刊倶シ日曜祭日翌日休刊一ケ月廿五錢
郵税十五錢一部二錢
廣告料 一行四十錢 二十錢增
場所指定
發行兼編輯印刷人 牛谷政等
發行所 福島縣平町大町二三 新いわき新聞社

# 合併反對の調印に
## 四ッ波部落の後悔
### 鯨岡と幕内の両大字では分離しても合併志望

平町の市制施行に合併の協議中であるが窪村が一部の反對側が三百餘町歩の村有林の處分問題を論材として同志の狩集めに奔走の傍ら各所に最寄會を催すなどに必死となつてゐるが右村有林の處理には方法によつて大した支障なきを漸く村民に悟られ去る六日午後同村大字鯨岡の鐵泉旅館に開催された同部落及び幕の内四ッ波三大字の有志會の如きも十三名の出席で鯨岡及び幕の内は同村から分離しても平町に合併したい意向を語り愛に反對側の策動に乘ぜられて陳情書に調印したるものを有する四ッ波部落の一部には今更後悔を唱ひ今後は心境の變化を以て合併の歩を固むべく申合せて散會したと

# 少年の就職希望
## 既に三百五十三人
### 依然鐵工方面の希望が多く
### 昨年より百二十名增

平町職業紹介所では目下今春卒業する小學兒童の就職斡旋について各校からの希望を集めてゐるが今八日迄に平第一校外十五校に於て男二三一人女一二二人計三百五十三人に達した之れを昨年に較ぶれば既に百二十名の增加で希望職は依然として鐵工方面が最も多く町内各商店からも亦々求人申込みに接してゐるが店員希望は極めて少なく近く所員を上げて兒童の志望に添ふやう求人開拓に努力の筈である尚ほ各校の希望者數を上ぐれば左の如くである

| | 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|---|
| 平一 | 三六 | 一 | 三六 |
| 同二 | 一 | 四九 | 四九 |
| 同三 | 六 | 四 | 一〇 |
| 高久 | 五 | 一 | 五 |
| 鹿島 | 一八 | 一二 | 三〇 |
| 内郷 | 七八 | 二四 | 一〇二 |
| 同二 | 七 | 二九 | 九 |
| 好間 | 四一 | 二八 | 六九 |
| 赤二 | 三 | 一 | 三 |
| 神谷 | 三 | 一 | 三 |
| 草野 | 一三 | 一 | 一四 |
| 大浦 | 七 | 一 | 七 |
| 四倉 | 六 | 二 | 八 |
| 平窪 | 五 | 一 | 五 |
| 川前 | 二 | 一 | 二 |
| 桶賣 | 一 | 一 | 一 |

# 請負業者の濱通總會
### 來る十日平町で終つて新年宴會

濱通り三郡の土木建築請負業組合では今八日午前平町の石城郡同業組合事務所に幹部會を開き三郡聯合の總會を開催其他につき協議の結果明後十日午前九時から前記石城郡組合事務所に會議を行ひ午後平町大貞に於て新年祝賀を兼ねた懇親宴を催す筈であるが出席者は會員のみで左記四十三名であると

石城二三名　双葉一二名　相馬八名（以上）

# 十二月末までの檢査米四萬五千俵
### 來る三月迄に更に二萬五千俵
### 昨年よりは增加の見込

縣穀檢平支所管内に於ける昨年四月から十二月に至る檢米の總俵數は四萬五千百九俵で四倉及び勿來の兩出張所を除く平支所の取扱ひ高は

總數一八五六三俵　此の等級内譯二等八　三等二二四俵　四等四八一七　等外一二六二一俵

に達し本年一月に入つて早くも五千俵の檢査高に上り勿來出張所の如きは既に昨年三月末の總勘定を突破し四倉出張所もまた是からの檢査が少なくないので來る年度末までに二萬五千俵の檢査を見込まれ前年よりは增加するものと云はれてゐる而して本年の檢査數は平支所が從來默許してゐた叺入を斷然廢止し且つ檢員に嚴重主義を取つたので若干の減少を免かれまいと豫想されたものが此の成績を見たるは年次檢査を重視されてゐるに因るものと語られてゐる尚ほ昨年度末の檢査總數は左記の如くであつた

平支所三四三九八俵　四倉二三六七〇俵　勿來一一〇七三俵　計六九一四三俵

# 常識講座

オブチミズムは樂天主義、樂天觀の意、オブゼクト又はオブゼクテーヴは物象、目的、對衆、客觀的の謂、オブラート演說はH英の混血子語で他人の說を丸呑みに其まゝ語る演說

# 何所まで波及する
## 山文の手擴い所業
### 磐炭と入山の倉庫係も買收
### 買受け以外の品を窃取

平町の山文事件は昨年の御用終えまでに一と先づ大物を取片つけを了した平署では更に未了の連累者に對して檢舉の手を進め磐城炭鑛倉庫係山口午太郎、坂本茂男及び入山採炭の蒲田久之助の三名を留置取調べ中であつたが前記の口から山文の商店員である内藤七郎、宮下勇二より數百圓の現金を收授したる外數回の饗應をうけ不用品拂下げの際山文方に於て買受けない數千點の物品を窃取運搬せることを見遏がしたことが曝れたので去る六日夜右二店員も檢舉されて留置取調べられてゐるが事件は尚ほ波及するものゝ如く見られてゐる

# 昨年中に於ける
## 石城郡の傳貧馬
### 昨年より一頭增で十四頭
### 七月が發生最も多い

石城產馬組合に於ける昨十一年中の傳貧馬は三坂二、澤渡一、入遠野一、上遠野一、田人二、貝泊二、石住一、川前四の計十四頭で前年より一頭增の發生であるが殺處分の評價は最高二百十圓最低四十五圓で平均約百二十圓に當り右に對して政府から評價格の三分の一を補助されることになつてゐる此の補助總額は大体五百六十圓を見込まれ尚ほ發生の月は盛夏に入る七月が最も多く月別を上ぐれば次の如くである

二月一頭　五月二頭　六月二頭　七月四頭　八月一頭　九月三頭　十月一頭

# 浪越眞清書道會書初會
## 昨七日マルトモホールで

平地方書道研究者に組織される浪越眞清書道會の第二回書初會は昨七日午前八時から平町マルトモ樓上に於て開催されたが一般及び各小學兒童等多數の參加ありて穴井、熊谷佐々木等の書方教師による審査の結果左記の入賞者を決して賞品を授與した

▲第一年生天賞小野武子　地賞山田文子　人賞芹澤美佐子　佳作岡部とも子

▲第二年生(天)宮川幸子　(地)服部桂子　(人)吉田綾子　(佳)齋藤英子　永山晴子

▲第三年生(天)山崎慶一　(地)鈴木千代子　(人)小野朝子　(佳)猪狩優子　横山敬子　吉田晉　原きみ　根岸乾雄

▲第四年生(天)千葉文彦　(地)堀江和子　(人)小野健太郎　(佳)鹽坂幸子　市原貞子

▲第五年生(天)川崎繼男　(地)磯山一郎　(人)藤沼喜一郎　(佳)井坂京子　飯沼俊子

▲一般の部(天)鹽坂梅月　(地)宮川芳子　(人)加藤きよ子　(佳)江川照子

# 上小川村の果樹組合
### 來る廿日の發會式

石城郡上小川村では果樹の栽培を計畫し開墾地に約五町歩の梨園が出來た關係者十數名を以て今回組合を創設されたが來る二十日午後一時發會式を擧行の筈で郡役所から青山技師臨席されるが新設梨園は何れも棚上げを了し今年から若干の生產がある由

# 廿一の春を
## 服毒自殺
### 眼を苦にして

石城郡赤井村の高萩猪野殿之助長女みよ子(二一)は昨七日朝七時頃居宅に於て流行藥を服し自殺を計つて苦悶中を家人に發見され最寄醫師の應急手當を受けたが効なく間もなく死亡したみよ子は眼病を苦にし最近强度の神經衰弱に陷つてゐたものであると

# 玉川農事講演

石城郡玉川村農會主催の農事講演會は來る十三日午前九時から同村小學校に於て催されるが講師は郡農會の青山技師であると

# 石城醫師總會

石城郡醫師會では來る十日平町常陽銀行樓上に於て總會を開催し庶務會計その他新入死亡の會員等を報告したる後新年祝賀を兼ねた懇親の宴會を催すと

# 平署の寒稽古

平警察署では例年の如く今八日から十日まで毎日午前二時より同四時に及ぶ柔劍道の寒稽古を同署演武場に開催するが一般の參加を歡迎すると

# 保險年金加入者優待の活動寫眞

平郵便局では保險年金加入者を優待するため曩頃の活動常設世界館に於けるキング連載の「赤行襲犯人は誰か」の映畫化トーキーを後援し來る十日から十三日まで四日間木戸十五錢を割引する優待券を出したが定めし盛會だらう

# 平消防新年會

平消防組合の幹部新年宴會は明九日午後四時から同町谷口樓に町議その他を招待して盛大に催すと

# 正月の小使ひを節約國防費献金

石城郡四倉小學校では職員一同がお正月の小使を節約して持ち寄つた金十六圓九十八錢を國防費に献金した

# ピアノ練習講習

石城郡の唱歌研究會支部では本年から毎日曜日に平第一小學校講堂にピアノの練習講習會を催すと

# 兒童の書初展

平町内の各小學校では明九日各講堂に於て兒童の書初め展覽會を開催し父兄の參觀を歡迎すると

# 青果市況

平中央青果市場調（厘單位）

| | 高値 | 安値 |
|---|---|---|
| 葱（貫） | 二〇〇 | 一七〇 |
| 油菜（百把） | 五〇〇 | 四〇〇 |
| 人參（貫） | 一七〇 | 一四〇 |
| 牛蒡（貫） | 二二〇 | 一八〇 |
| 丸大根（十本） | 三〇〇 | 二五〇 |
| 長大根（十本） | 五〇〇 | 四五〇 |
| 里芋（貫） | 二四〇 | 二二〇 |
| 馬鈴薯（貫） | 一六〇 | 一五〇 |
| 甘藷（貫） | 一六〇 | 一五〇 |
| 蓮根（十把） | 八〇 | 八〇 |
| 白菜（貫） | 一五〇 | 一三〇 |
| 葱（小把） | 三五 | 二〇 |

今晚も明日も北西の風、晴（小名濱測候所）

## 産業方面

### 農閑期最適の 藁工品 (三)

原料と技術と販賣

には斯樣な「コツ」

當繩はなるべく太いものとし縫繩では一分五厘繩、當繩は二分五厘または三分位の割合が適當である、そして口開き三寸、底の折込み三寸位のものが標準とされてゐる、

次には販賣のコツを述べるが藁製品は規格を統一しこれを厳守することが最も安全なことで現在全國十五縣では縣營檢査を實施し然らざるところは大抵同業組合檢査を行ふやうになつたがそれでも尙ほ一般農家の自覺が足らず嚴正公平には行はれ難くて成績のよくないものが少なくない市場側ではたとへ安價でも粗惡品は絶對買はず必ず檢査マークを行た優良品を買のであるから規格は藁工品販賣上の生命とも云へる、出荷は今のところでは產業組合その地の共同出荷は比較的少なく農家から直接買占めの方がより多く行はれてゐるが然し取引の趨勢は共同取引に進みつゝありしつかりした組織のもとに行はれるなら團体取引の方よいと市場側では共れを希望してゐる、

規格は各種包裝の向上が叫ばれつゝあるものに從つて藁製品は良質のものでなくてはならず、規格の判然したものでなければ市場では絶對に買はない、

取引の方法、これは地方に出張所を設け農家から直接に手に入れる場合が多いのであるが適當な大量取引機關の生れることを希望してゐる、


## デーリーサービス

| 日割 | 品目 | 定價 | 品目 | 定價 |
|---|---|---|---|---|
| 月 | カツレツ | 三〇 | チキンライス | 三五 |
| 火 | ポークチヤツプ | 三五 | カツ丼 親子丼 | 三〇 三〇 |
| 水 | エビフライ | 三五 | ハヤシライス | 三〇 |
| 木 | メンチボール | 三五 | オムライス | 三〇 |
| 金 | コロツケ 臓フライ | 三〇 三五 | ハムライス | 三〇 |
| 土 | ビーフテキ | 三五 | カレーライス | 三五 |
| 日 | 〃 ランチA 〃 ランチB | 四〇 六〇 | 以上の一割引にて差上ます | |

特にマルトモのランチは…

材料のおまかせを願つて居る爲め其の節々のおいしい新鮮な物を御進め出來ますので御華客樣からいつも御好評を戴いて居ります

御來店御召上りの時も御來客樣用仕出し等總べて御値段を御示し下さつておまかせ願へますれば季節〈〉の材料で美味快適なものを調理進上出來ますので之また非常に御好評で御座います

RESTAURANT MARUTOMO

マルトモ食堂　電話二二三　中町停車場通

平町紺屋町

藤沼醫院

電五〇七番

當搪醫門專科各

磐城共濟病院

院長　醫學博士　長谷部喜久

平町　電話六四一番

入院應需

內科、小兒科

大森醫院

醫學士　大森勇

平町南町　電二五八番

最も有利な利殖法

一、債券賣買　時下相場により御相談に應じます

一、擔保貸付　最も安いもので八掛迄御貸付致します。

一、福利貸付　各證券による年一割賣拂配當保證付(年四割配當豫想)

一、當籤の無料調査　回別と番號を御知らせ下されば調査の上御報知申上げます。

(營業科目)

平町仲間町(申込次第詳報呈上)

横山商店債券部

電話二七一番

拂替東京九〇六一〇

入院應需(自炊の便あり)

明雲堂眼科醫院(電話六六九)

田町(平三丁目裏川岸通)

『看護見習募集』

磐城代表酒銘

美味經濟

ヤマワ醤油

山崎合名會社

電話十番

內科、小兒科

外科、花柳病科

耳鼻咽喉科

レントゲン科

平町田町

高久病院

電話五一三番

院長　醫學士　高久忠

外科一般

レントゲン科

內臟外科

泌尿器科

北川外科

(血液檢査毎日)

イツデモ入院デキマス

平町新川町二七(電四六四)

醫學博士　北川芳夫

技師　小林良次

內科

皮膚科

泌尿器科

性病科

診療時間　午前八時より午後九時まで

醫學博士　江尻伊三郎

平町田町(香山內醫院跡)電話六九一番

開院

江尻醫院

債券高價買入

平田町(役場側)

石川元康

入院隨時、手術室完備

產婦人科

醫學博士

五十嵐雄二

平町新川町『電話三六九番』

和洋銅鐵、金物問屋

釜屋商店

電九・九九

債券　公債　兩替　金融

多田井質店

平町大工町　電話五九一番

請需下の大妙藥

安流丸

平町五丁目三番地

山口勝藥舗